

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

年度	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	学期	学年	開講所属	授業の紹介
2020	100902	<UGO102>香川学【発】	藤井雄三(秘書科), 林守孝(経営学部)	2	前期	1年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業です。公的な機関において、文化財行政などを担当した経験を生かし、具体的な事例などを示しながら授業を進めます。これからの教育に携わる者にとって、自己の立ち位置を知り、意識しておくことは、極めて重要です。今、住んでいるまた、これから住む可能性が高い香川県や高松市は私達にとって、そこがどのような場所であるのかを知ることは、避けて通ることができません。本授業では香川・高松の特色のある行事、地形、文化、歴史等を学ぶことで、教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解する能力を養います。本授業では、1回の現地見学を予定しており、現地の息吹をじかに触れてください。その他は、基本的には講義形式です。なお、現地学習等に要する経費は、各自の負担となります。
2020	101001	<UGO002>香川学演習	藤井雄三(秘書科)	2	後期	1年	大学	この授業は、実務経験のある教員による授業です。公的な機関において、文化財行政および生涯学習などに関する業務の一端を担ってきた経験を生かし、具体的な事例などを示しながら活動を指導します。故郷香川の自然や文物、創成の取り組みへの理解を深め、実習を通して、参画の態度を育てることを目的とします。教職をめざす学生は教材開発の視点、経営を学ぶ学生は地域活性化の視点を重視します。日常的な活動としては、高松市創造都市推進局や地域コミュニティ等、近隣の自治体やその関係機関が行う行事・活動に参加し、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図れるようにするとともに、その意義などを実際に学び、豊かな人間性や主体的に生きる力や、課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を実地で養います。さらに、休日等を利用して学内外の行事にボランティアとして運営補助等の立場でも参加し、香川の明日を創る、特色ある取り組みについて、学びます。受講者は、参加したい活動や行事を選択し、各自で授業計画を作成します。参加する活動の受け入れ先と交渉を行い、日時の決定も自ら行います。学外で実施される主な行事と活動(例)博物館・美術館等の行う事業への参画、見学子どもに関係する団体が行う事業への参画、見学スポーツ関係団体の行う事業への参画、見学地域の関係団体等が行う事業への参画、見学地方公共団体、それに準じる団体等が行う事業への参画、見学なお、活動に要する経費は自己負担となります。
2020	321001	<KISO5>カリキュラム論	山田純子(発達科学部)	2	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。保育者は日々子どもと遊びを共にしながら、子どもが幼稚園や保育所、認定こども園に入園(所)してから修了するまでの生活の全貌を見通した保育の計画を立て実践しています。本授業では、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき各園で編成・作成される教育課程・全体的な計画の意義や方法を学び、保育の計画、実践、評価、改善の過程についての全体構造を理解していきます。そして、他教科の学びと関連付けて理解し、保育の実践力を構築していく力が身に付くことをめざします。また、保育の基本的理念を理解することを通して、保育者としての使命感、倫理観を育てていくことになります。
2020	301901	<KOKO6>保育内容ー環境Ⅰ【発A】	川口めぐみ(発達科学部)	1	前期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。子どもは、周囲の様々な環境(人、もの、自然、社会、文化など)に好奇心や探究心をもって関わります。子どもにとってよりよい環境や保育者が果たす役割などについて、具体的な指導場面での事例や体験的な実践を通して考えながら、保育実践力を培っていきます。その中でも、主に自然との関わりに関心をあて、大学内のフィールドワークを通して指導上の留意点等について考え、保育実践力向上を目指します。また、小学校教育とのつながりを理解し、連携をしていく上での工夫や配慮等についても考えていきます。
2020	301902	<KOKO6>保育内容ー環境Ⅰ【発B】	川口めぐみ(発達科学部)	*1	前期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。子どもは、周囲の様々な環境(人、もの、自然、社会、文化など)に好奇心や探究心をもって関わります。子どもにとってよりよい環境や保育者が果たす役割などについて、具体的な指導場面での事例や体験的な実践を通して考えながら、保育実践力を培っていきます。その中でも、主に自然との関わりに関心をあて、大学内のフィールドワークを通して指導上の留意点等について考え、保育実践力向上を目指します。また、小学校教育とのつながりを理解し、連携をしていく上での工夫や配慮等についても考えていきます。
2020	302001	<KOKO7>保育内容ー環境Ⅱ【発A】	川口めぐみ(発達科学部)	1	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。環境Ⅱでは、環境Ⅰの内容を発展させ、子どもが主体的に環境に関わる力を育む保育について、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を身に付けていきます。そのため、指導案や指導計画の作成、模擬保育を行い、こどもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を培っていきます。また、園の室内環境や安全な環境について知識や技術を深めたり、現代的課題や保育実践の動向について学んだりすることを通して、保育構想の向上を目指します。
2020	302002	<KOKO7>保育内容ー環境Ⅱ【発B】	川口めぐみ(発達科学部)	*1	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。環境Ⅱでは、環境Ⅰの内容を発展させ、子どもが主体的に環境に関わる力を育む保育について、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を身に付けていきます。そのため、指導案や指導計画の作成、模擬保育を行い、こどもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を培っていきます。また、園の室内環境や安全な環境について知識や技術を深めたり、現代的課題や保育実践の動向について学んだりすることを通して、保育構想の向上を目指します。
2020	302101	<KOKO8>道徳教育論【3年～】	七條正典(発達科学部)	*2	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。学校現場や教育行政での豊富な経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。授業の内容は、大まかに理論編と実践編に分ける。理論編では、現代社会と道徳問題について概説し、道徳及び道徳教育の本質について講義する。実践編では、学習指導要領に基づいた道徳教育のあり方や実践の方法について具体例や模擬授業を通して考えていく。以上のことを通して、教育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育の実践と関連づけて理解できるようにする。
2020	302102	<KOKO8>道徳教育論【2年】	七條正典(発達科学部)	2	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。学校現場や教育行政での豊富な経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。授業の内容は、大まかに理論編と実践編に分ける。理論編では、現代社会と道徳問題について概説し、道徳及び道徳教育の本質について講義する。実践編では、学習指導要領に基づいた道徳教育のあり方や実践の方法について具体例や模擬授業を通して考えていく。以上のことを通して、教育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育の実践と関連づけて理解できるようにする。
2020	302201	<KOKO9>生徒指導の研究(進路指導を含む)	七條正典(発達科学部)	2	前期	4年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。学校現場や教育行政での豊富な経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。また、授業の内容は、学校における生徒指導の進め方、進路指導・キャリア教育のあり方について、児童生徒の社会的な自己実現に関わる様々な「問題」やトピックスを取り上げながら臨床教育学的に考察するものである。以上のことを通して、教育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育の実践と関連づけて理解できるようにする。

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

年度	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	学期	学年	開講所属	授業の紹介
2020	302401	<KARA31>乳児保育Ⅰ【2年】	川原亜津美(発達科学部)	2	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育士として3歳未満児の生活をつくり上げていくために必要な知識と技術を獲得することを目的としています。乳児保育の意義・目的、歴史的変遷、3歳未満児の発達、保育内容、保護者・地域との連携を基本柱として学び、保育者に求められる「理論」と「実践力」を身につけることを目指します。保育所保育だけでなく乳児院等多様な保育の現場における乳児保育の現状と課題について理解し、子育てを支える保育者としての視点を養います。
2020	302501	<KARA32>乳児保育Ⅱ	川原亜津美(発達科学部)	1	後期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育の現場で求められる保育士像を理解し、3歳未満の子どもの発育・発達の過程や特性を踏まえた保育を行うために必要な「理論」と「実践力」を獲得することを目的としています。養護及び教育の一体性を踏まえ、乳児保育Ⅰで学んだ基礎的な知識・技術をより発展させるために、演習を多く取り入れます。3歳未満児の保育計画の立案、情報共有手段としてのおたより作成、遊び環境としてのおもちゃ作成等、さまざまな活動を通して、保育の方法、環境構成を学び、創造力を身につけます。
2020	305001	<TISE7>算数	環修(発達科学部)	2	前期	1年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小・中・高等学校での学校現場指導及び、教育委員会での行政指導の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。また、この授業は、算数・数学に関する問題に対し、あなたが考え、あなたが解決する時間です。身近な生活の中にある算数から論理的思考へと広がっていく数学の世界のおもしろさや良さを実感し、数学的な見方・考え方を認識していきます。算数・数学を学ぶ意義を考え、それを子どもたちに伝えていこうとする力を育てていきます。
2020	332001	<TISE12>幼児理解【発A】	山田純子(発達科学部)	1	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員が担当する授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。幼児期にふさわしい保育を行う際に必要なことは、幼児一人一人の特性を的確に把握し、理解することです。そのため、本授業では、幼児理解の意義と重要性を理解し、それらを保育実践と結びつけて考察する力を身に付けることをめざします。また、文献や観察記録、映像視聴など様々な演習方法を通して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるさまざまな、その要因を把握するための原理や対応の方法について学ぶとともに、個と集団の関係や家庭との連携を含めて考える力を身に付けていきます。そして、幼児の育ちを支えるために必要な保育の実践力及び豊かな人間性を養うことをめざします。
2020	332002	<TISE12>幼児理解【発B】	山田純子(発達科学部)	*1	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員が担当する授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。幼児期にふさわしい保育を行う際に必要なことは、幼児一人一人の特性を的確に把握し、理解することです。そのため、本授業では、幼児理解の意義と重要性を理解し、それらを保育実践と結びつけて考察する力を身に付けることをめざします。また、文献や観察記録、映像視聴など様々な演習方法を通して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるさまざまな、その要因を把握するための原理や対応の方法について学ぶとともに、個と集団の関係や家庭との連携を含めて考える力を身に付けていきます。そして、幼児の育ちを支えるために必要な保育の実践力及び豊かな人間性を養うことをめざします。
2020	333001	<TISE18>特別活動論	七條正典(発達科学部)	2	後期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。学校現場や教育行政での豊富な経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。また、学校における多様な集団活動を通して課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行われる活動の総体である特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」「チームとしての学校」の視点から、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。以上のことを通して、教育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育の実践と関連づけて理解できるようにする。
2020	311801	<KYOU21>教職教養演習Ⅲ	秋山達也(発達科学部)	1	後期	3年	発達科学部	本気で教員を目指しませんか。この授業は、小学校教諭を強く志望し、4年次に小学校教員採用試験を受験する学生が対象です。教員採用試験の「教職教養」「小学校全科」に出題される学習指導要領に関する問題を多数扱います。「教職専門演習」「特別演習Ⅲ」も必ず受講してください。本授業は、「学位授与の方針」にある「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解」「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することに重きを置いています。また、本授業は実務経験のある教員が担当します。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。
2020	311901	<KYOU22>教職専門演習	秋山達也(発達科学部)	1	前期	4年	発達科学部	本気で教員を目指しましょう。この授業は、小学校教諭・特別支援学校教諭を強く志望し、本年度の教員採用試験を受験する学生が対象です。「特別演習Ⅰ・Ⅱ」で扱った模擬授業と、そこでは扱えなかった小学校における教科外の専門的知識と実践的指導力の習得を図ります。また、教員採用試験の面接対策にもなる「エントリーシート」「自己アピール」等の記述の指導を通して、教職に就く心構え、教育観、学校観、学力観を明確にしていきます。本授業は、「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解（「学位授与の方針の一部」）すること」をねらいとしています。また、本授業は実務経験のある教員が担当します。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。
2020	339001	<KYOU1>国語指導法Ⅰ	秋山達也(発達科学部)	1	前期	2年	発達科学部	「国語指導法Ⅰ・Ⅱ」は、小学校の国語教育の全領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を、その目的、内容評価について、原理原則の立場からと、実践の立場からの両面について考えます。「国語指導法Ⅰ」の授業では、「学位授与の方針」にある「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解」「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」すること、「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することに重きを置きます。この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。
2020	340001	<KYOU2>国語指導法Ⅱ	秋山達也(発達科学部)	1	後期	2年	発達科学部	「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている（卒業認定・学位授与の方針の一部）」の「実践」に関わる授業です。国語科の全領域を、実際に教壇に立った際に指導できるように必要な実践的指導力のトレーニングを行います。その活動を通して、「思考力・判断力・表現力」の育成を検討します。この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

年度	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	学期	学年	開講所属	授業の紹介
2020	343001	<KYOU5>算数指導法Ⅰ	環修(発達科学部)	1	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小・中・高等学校での学校現場指導及び、教育委員会での行政指導の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。また、算数科の授業に必要な知識や技能を幅広く体系的に知り、算数・数学の見方・考え方に触れることで、豊かな人間性や主体的に生きる力を育てていきます。また、グループでの指導案作成や検証により、子どものつまずきを考えたり、その対応を考えたりすることで、子どもにとって分かりやすい指導のあり方を身に付けていきます。
2020	344001	<KYOU6>算数指導法Ⅱ	環修(発達科学部)	1	後期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。小・中・高等学校での学校現場指導及び、教育委員会での行政指導の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。また、算数科の授業に必要な知識や技能を幅広く体系的に知り、算数・数学の見方・考え方に触れることで、豊かな人間性や主体的に生きる力を育てていきます。また、グループや個人で学習指導案を作成し、それをもとに模擬授業を実施し、全体で検討を行います。
2020	313601	<KYOU17>保育・教職実践演習(保・幼)	山田純子(発達科学部)、藤原フサエ(発達科学部)、田中美季(発達科学部)、松原勝敏(発達科学部)、中塚勝俊(発達科学部)、佐竹勝利(発達科学部)、川原亜津美(発達科学部)、徳岡大(発達科学部)、水嶋育(発達科学部)、川口めぐみ(発達科学部)	2	後期	4年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員も担当する授業科目です。保育所、幼稚園等の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。本授業は教職課程やそれ以外の授業科目、あるいはその他の種々の理論的、実践的活動を通して、学生が身につけた豊かな心や創造力等の資質・能力が保育者に最小限必要なものとして形成され、有機的に統合されたかについて、個々の授業計画の中で確認するものです。そのため、1年次より記録してきた教職ポートフォリオの活用による振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して定着を図ります。なお、後期開講ですが、必要に応じて、前期にも時間を調整して実施することがあります。
2020	313702	<KYOU18>教職実践演習(小)	峯寛文(発達科学部)、秋山達也(発達科学部)、七條正典(発達科学部)、山口明日香(発達科学部)、堀るり子(発達科学部)、藤本駿(発達科学部)、佐々木啓祐(発達科学部)、糸目真也(発達科学部)	2	後期	4年	発達科学部	本授業は教職課程やそれ以外の授業科目、あるいはその他の種々の学修活動を通して、身につけた資質・能力が教員として最小限必要なものとして形成され、有機的に統合されたかについて、個々の授業計画の中で確認するものである。1年次より記録してきた教職ポートフォリオの活用による振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して「理論」と「実践力」の定着を図る。なお、後期開講であるが、必要に応じて、前期にも時間を調整して実施することがある。また、本授業は、実務経験のある教員も担当する授業科目で、小学校、特別支援学校等の現場での経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。
2020	313801	<JISS1>観察参加Ⅰ	中塚勝俊(発達科学部)、山田純子(発達科学部)	1	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員も担当する授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。本学の特色の一つである実践力は直接保育現場に向向いての継続的長期的観察により、子どもと生活を共にする中で、園生活の様子や子どもの実態を体感することです。子どもに話しかけたり一緒に遊んだりすることを通して、書物で学んだ子どもの発達を生で体験することにより、子どもについての理解が深まります。また、理論と実践の接点を見出すことが可能になるだろう。この授業を通して、より確かな子ども観や実践力の基礎を学びます。
2020	313901	<JISS2>観察参加Ⅱ	中塚勝俊(発達科学部)、山田純子(発達科学部)	1	後期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員も担当する授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。この授業は観察参加Ⅰに続いての授業となるので、傍観者の観察者としてではなく、主体的なかかわり方を求めます。そこから、保育者としてのかわり方やいろいろな遊び場面における環境構成の方法や、援助の在り方、さらに随時環境の再構成について学んでいきます。また、子どもの発達についても理解を深め、その期の保育のねらいと子どもの動き、配慮の仕方など実践的観察参加の中から学び取っていきます。
2020	357001	<JISS5>教育実習事前事後指導Ⅰ【幼】	山田純子(発達科学部)	1	前期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園の現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。本授業は、教育実習を円滑に、より効果的にその目標を達成させるために行うものであり、実習の前後に講義・演習を行います。幼稚園教育実習の目的・目標・方法等の概要、実習の心得等の理解を深め、課題をもって実習に取り組めるように学びを深めていきましょう。また、保育に必要な知識・技能を取得しようとする意欲を高め、保育技術を身に付けることをめざします。保育・教育に携わる者として豊かな人間性を養うよう努めていきましょう。
2020	314801	<JISS13>保育実習指導Ⅰ－Ⅰ	川原亜津美(発達科学部)、川口めぐみ(発達科学部)	1	前期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育実習指導Ⅰ－Ⅰは、保育実習Ⅰの前半に実施される施設実習のための事前事後指導です。この授業では、保育実習の意義や目的を理解し、施設実習に向けた目的意識を高め、自らの実習課題をもつて実習に取り組めるように学んでいきます。実習生としての心構え、子どもの権利擁護、プライバシーの保護等について、改めて考え、学び、現場に入る前に、使命感や倫理観を高めます。また、実習後は実習の総括、自己評価を行い、今後の課題を明確化することを通して、継続的に学ぶ能力を養います。
2020	314901	<JISS14>保育実習指導Ⅰ－Ⅱ	川原亜津美(発達科学部)、川口めぐみ(発達科学部)	1	後期	2年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育実習指導Ⅰ－Ⅱは、保育実習Ⅰの後半に実施される保育所実習のための事前事後指導です。この授業では、保育実習の意義や目的を再確認し、保育所実習に向けた目的意識を高め、自らの実習課題をもつて実習に取り組めるように学んでいきます。観察や記録、指導案の立案や教材準備、保育実技、子どもの最善の利益の考慮など実習を円滑に進めるための知識や技術を習得し、実践力を身につけます。また、実習後は、実習の総括、自己評価を行い、今後の学習課題を明確にすることを通して、継続的に学ぶ能力を養います。
2020	315101	<JISS16>保育実習指導Ⅱ	川原亜津美(発達科学部)、川口めぐみ(発達科学部)	1	前期	3年	発達科学部	この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育現場での保育士経験を活かし、観察や記録、指導案の作成や教材準備、保育実技など実習を円滑に進めるために必要な知識・技術について具体的に説明します。保育実習指導Ⅱは、保育実習Ⅱで行われる保育所実習のための事前事後指導です。保育実習Ⅰの保育所実習で学んだことを発展的に深化させることを目的とします。2回目の保育実習としての意義や目的を理解し、目的意識を高め、課題をもって実習に取り組めるように学んでいきます。また、事前、事後の学習や実習体験を振り返り、子どもの発達と遊び、環境構成、そして保育士の役割や職務内容などを具体的・総合的に学んでいくことを通して、「実践力」を身につけます。

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

年度	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	学期	学年	開講所属	授業の紹介
2020	315601	<KYOU23>特別演習Ⅰ	秋山達也(発達科学部)	1	前期	3年	発達科学部	本気で教員を目指しませんか。この授業は、4年次に小学校の教員採用試験を受験する学生を対象とした授業です。教員採用試験の2次試験対策の一環として位置づけ、小学校教諭に必要とされる教科の実践的指導力を身につけることをねらいとしています。模擬授業の相互評価を通して、教科の授業を指導する際に必要なスキルを身につけることに徹します。また、後期開講の「特別演習Ⅱ」、4年次の「特別演習Ⅲ」「教職専門演習」の授業も必ず受講してください。本授業は、「学位授与の方針」にある「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解」「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの、「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することを向上させることをねらいとし、実務経験のある教員が担当します。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な指導言(発問・指示・説明)を示しながら授業を行います。
2020	315701	<KYOU24>特別演習Ⅱ	秋山達也(発達科学部)	1	後期	3年	発達科学部	「特別演習Ⅰ」と同様、4年次に小学校教員採用試験を受験する学生を対象とした授業です。小学校教諭に必要とされる教科(主に社会科・理科)の実践的指導力を身につけます。それは、「学位授与の方針」にある「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解」「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの、「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの向上に大きく関わります。実際に教壇に立つ場面を想定して模擬授業を行い、相互評価を通して、教科の授業を指導する際に必要なスキルを身につけることに徹し、実務経験のある教員が担当します。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な指導言(発問・指示・説明)を示しながら授業を行います。この授業は、小学校教員採用試験の2次試験対策の一環として位置づけています。教員採用試験を受験する学生には必須の授業です。また、後期の「教職教養演習Ⅲ」、4年次の「特別演習Ⅲ」「教職専門演習」の授業とも関連が深いので、これらの授業も必ず受講してください。
2020	315801	<KYOU25>特別演習Ⅲ	秋山達也(発達科学部)	1	前期	4年	発達科学部	小学校教員採用試験の2次試験で実施される模擬授業に対応した授業です。受験する教員採用試験に対応します。「特別演習Ⅰ・Ⅱ」で培ったスキルをもとに、確かな学力を子どもたちに身につけさせられる実践的指導力を目指します。本授業は、「学位授与の方針」にある「教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解」「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの、「知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解」することの向上に重点を置いています。また、本授業は実務経験のある教員が担当します。小学校の教育現場での授業や教育研究会での公開授業・提案発表の経験を生かし、具体的な指導言(発問・指示・説明)を示しながら授業を行います。
計				39			発達科学部	